

(7) 農作業（農機具）の変遷

昭和30年代頃から化学技術の進歩が著しく、手作業の農業にも耕運機・田植機・稲刈機と機械化の波が押し寄せ全く変貌していった。

やがて、足や手を泥水に濡らすことなく稲づくりができる時代が来るのではあるまいか。その証拠に乗用田植機が本町にもお目見えしている。

農 作 業	昔	今
田 耕 起	人力 4本こで耕す ↓ 馬→牛 ばこうでうなう	耕運機→トラクター
しろかき (田圃をたいらにする)	人力 ならし棒 ↓ 馬→牛 鼻取りを子どもがした	
種 子 播 き	苗代(水田)→折衷苗代(水田) → ^{おか} 陸苗(畑)	・箱苗 育苗センター ストウミット式出芽機 緑化ハウス
田 植 え	人の手 ゆいをして古いも若きも子どもも大勢で田植え歌を歌ってにぎやかに。	・田植機(2条→4条→6条) ・乗用田植機 1人か2人で植える。
田の草取り	人の手→田車(1条・2条) 一番除草はたてを田車で、二番除草はよこを田車で、三番除草は人の手で。	・除草機(3条・4条) たて1回 ・除草剤(2回くらい)ですませる家が多い。
イモチ消毒	昔はやらなかった→手廻し消毒器	動力散粉機 ↓ ヘリコプター
稲 刈 り	手刈りカマ ゆいをして大勢でにぎやかに。 学校生徒が「1反当りいくら」で請負って刈った時代もあった。	・バインダー 1条→2条 ・コンバイン(刈って刎にする) 1人か2人でする
乾 燥	自然乾燥(30日くらい) 長はせ→棒はせ	・バインダーの場合 棒はせ自然乾燥 ・コンバインの場合 乾燥機(5~6時間)
脱 穀	^{せんばこ} 千歯扱き→足踏み稲こき機	・脱穀機 コンバイン
粃 摺 り	土うす(どずるす)	・粃摺機
精 米	玄米で食べた 水車	・精米機 ・自家用小型精米機